

パソコン教室 どきどき体験!

Text by ササキユリ
Illustrations by すぎやまえみこ

サークル仲間とメールやりとりしたり、動画を見たりと、パソコンやスマートフォンなどきフル活用しているどきどき世代が増えています。扱い方に慣れるまでは、パソコン教室を受講するのが、上達への近道……。とわかっていても、今までなかなか参加する勇気が出ませんでした。今回、どきどき世代向けの講座を発見し、思い切って参加してみることに!



いざ、基礎講座へ!

今回は、東京・三鷹市のNPO法人「シニアSOHO普及サロン・三鷹」が開いている「パソコンまるごと基礎講座」を受けてみることにしました。

場所は、JR中央線三鷹駅から徒歩7分。商店街の一角、ビルの1階にあり、全面ガラス張りでは丸見えです。目的の講座は90分間。恐る恐る教室に入っていくと、ノート型パソコンが用意された教

室に、3名の講師陣と8名の受講生。もちろん、全員どきどき世代です。

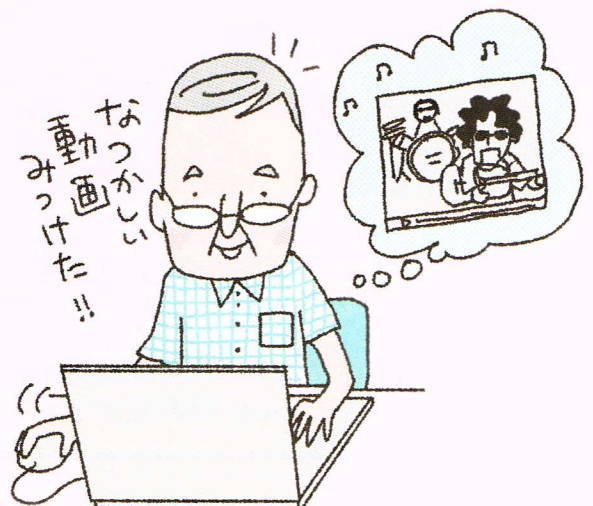
1時15分、講座がスタート。講師のひとり、山屋祐三さんが、まずはインターネット画面を開く方法を解説し始めました。

操作方法がわからず チンパンカンパン

「お気に入り」をクリックしていただく、ここに入れていたものが画面上に出てきます」と、山



屋さん。クリックというのは、パソコンに何か動作を命じる際、操作ボタンを押すことをいいます。でも、「お気に入り」ってどこにあるの? と思っていたら「どこをクリックすればいいですか?」と、お向かいの女性。となりに座っていた女性ふたりも、「これを押すの?」「いえ、こっただと思う」などと悪戦苦闘中です。「うーん、むずかしいな」とつぶやく80代とおぼしき男性も。なすんだ、どなたもホントに初心者です。ホッ。





ゆっくり、少しずつ

それにしても、講師の山屋さんの口調は、じつにゆっくり。しかも、説明が必要最小限なのでわかりやすいのです。

山屋さんは70歳。五感が衰え、脳の情報処理能力も自信も低下してくるどきどき世代のキモチがわかります。

「講師は、教えるのが楽しいという方ばかり。受講生のレベルに合わせて教え方も丁寧です」とは、同NPOの代表理事を務める久保律子さん。基礎から上級まで講座もいくつかあることから、ここでは受講生が絶えず、会員数は15年前の創立時よりも増えて109名もいるそうです。

電源は入れっ放し触って覚える

「ああ、できた！」

こんな感動の声が、教室内のあちこちから聞こえ始めた頃、時計を見ると、すでに開始から1時間以上。全員、パソコンの画面に釘付けで、無我夢中。山屋先生に上達のコツをうかがうと……。

「自宅では、パソコンの電源を切らない。しょっちゅうパソコンの前に座ってみる。YouTubeという動画配信の画面を開けば、ビートルズの昔の映像や動物の面白い映像も見られますから、とにかく怖がらずに触ってください」

要は頭で考えるより、カラダで覚え



ちょっと休けい



それが上達への近道だそう。

自宅に居ながら 外の世界とつながる面白さ

でも、皆さん、どうしてパソコンを始めようと思ったのでしょうか。「遠くに住む孫に動画を送りたいから」、「年賀状を作りたいから」、「ボケ防止になりそう」と、動機はさまざまです。足腰が不自由になっても、パソコンがあれば、居ながらにして、世界を広げられます。ドキドキしながらパソコンをいじり、写真の処理ができるようになった時のワクワク感はたまりません。もう一度、講座を受けることになりました！



「パソコンまるごと基礎講座」

NPO法人

「シニアSOHO普及サロン・三鷹」

事務局 電話0422-40-2663

今回取材したのは

講座開催場所

東京都三鷹市下連雀3-38-4

三鷹産業プラザ1階パソコンルーム